

【研究課題名】

担がん患者における、がん治療関連運動器障害の調査

1. 研究の対象

栃木県立がんセンターにおいて2010年1月1日から2023年3月31日までに診療を行った患者様のうち、一般整形外科の既存概念だけでは診断が困難であった方、すなわち、その症状の原因が抗がん剤や放射線等のがん治療の直接の合併症ではなく、がん治療の合併症によって生じた2次的な運動器の症状を呈した患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

がんの治療後には、さまざまながん治療による運動器の問題が生じます。また、治療に反応した骨転移巣も一因となり、複数の原因が関与するとその診断は困難となります。特に、がんの転移病巣の変化が原因となる脊椎、関節障害は、転移を生じた患者様の予後が短い時代には問題にならなかった病態であり、我々整形外科医が初めて遭遇する新たな疾患概念と考えられます。現在、我々はがん治療による運動器の問題が関係して生じた運動器障害を、「がん治療関連運動器障害」ととらえ、その病態を明確化することを試んでいます。本研究の目的は、慶應骨軟部腫瘍研究会(Keio-AMOR)参加施設の診療情報を用いて、「がん治療関連運動器障害」を調査・解明し、その治療方針を明確化することです。

研究実施期間：承認日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。

カルテ情報(性別、初診時年齢、症状、原発巣、転移巣、治療歴、運動器障害の種類、診断、治療に関する情報)

4. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関する連絡先： 栃木県立がんセンター
骨軟部腫瘍・整形外科 菊田 一貴
栃木県宇都宮市陽南4-9-13
電話：028-658-5151

研究責任者： 栃木県立がんセンター
骨軟部腫瘍・整形外科 菊田 一貴

研究代表者： 東京歯科大学市川総合病院整形外科
教授 穴澤 卯圭

5. 研究組織

この研究は以下の体制で実施します。

慶應骨軟部腫瘍研究会(Keio-AMOR)参加施設

東京歯科大学市川総合病院整形外科	穴澤卯圭(教授)
防衛医科大学校整形外科	堀内 圭輔(准教授)
慶応義塾大学病院整形外科	中山 口バート(講師)：
国立病院機構東京医療センター整形外科	森岡 秀夫(部長)
立川病院	鈴木 禎寿(部長)
杏林大学整形外科	森井 健司(臨床教授)
川崎市立井田病院整形外科	西本 和正(部長)
国立がんセンター中央病院 骨軟部腫瘍科	小林 英介(医長)
栃木県立がんセンター骨軟部腫瘍科	菊田 一貴(科長)

東京歯科大学市川総合病院整形外科学ホームページ(<http://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/>)